

大学の授業をデザインする (第8回)

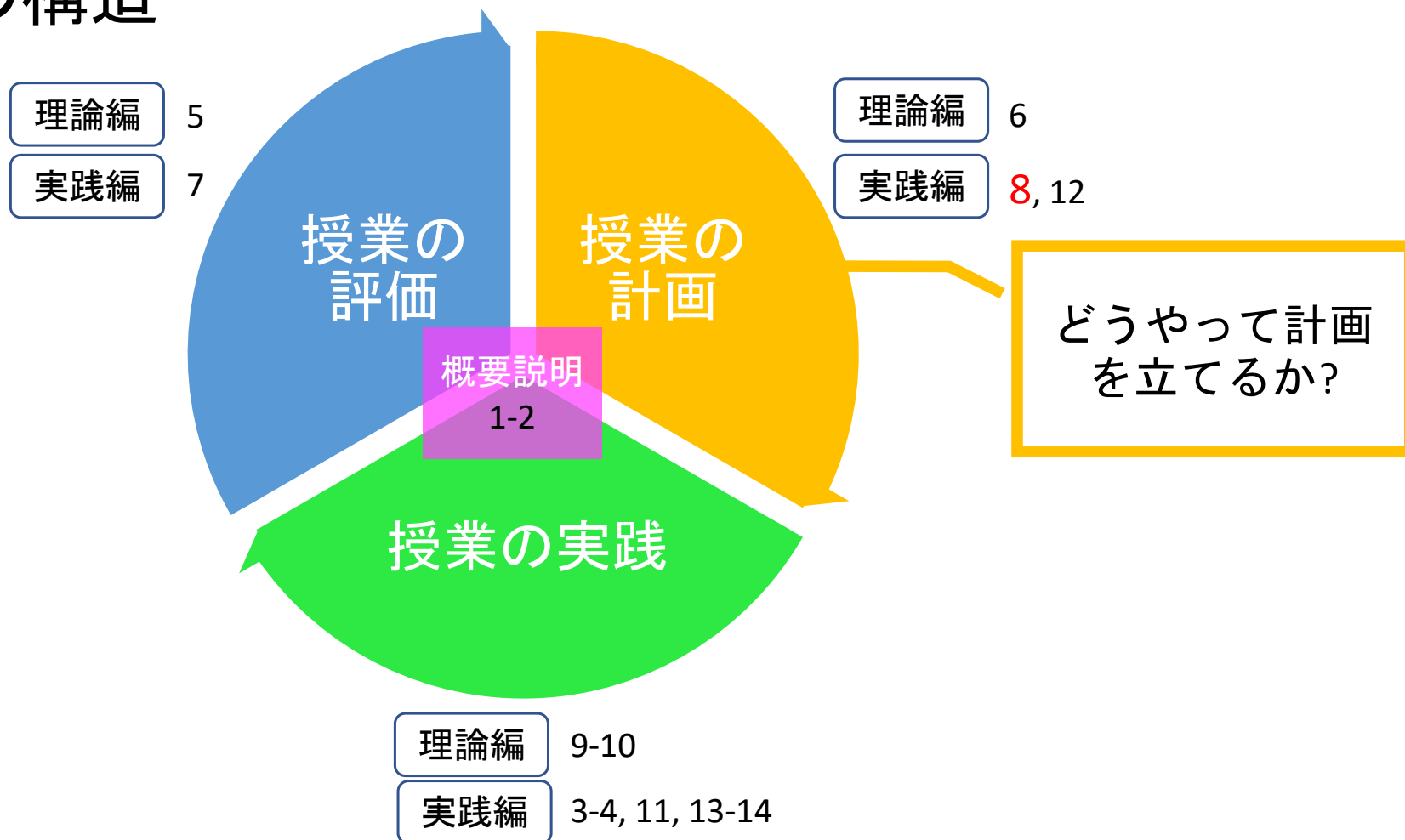
この時間は、チャットでのコミュニケーションによる、
僕以外は無言のアクティブラーニングをします。

九州大学未来人材育成機構
長沼祥太郎

8. シラバス（実践編）

内容	時間	授業形態	備考
前回の復習	10分	説明	
シラバスへのコメント	30-40分	演習	ノルマ：3名分
寄せられたコメントへのリプライを書く	15分	演習	
総括	10分	説明	
DAY5の説明	5分	説明	

この授業の構造



この時間の学習目標

- 自分のシラバスの弱点を述べることができる
- 自分のシラバスを改善する方向性を述べることができる

復習

「授業概要」のポイント

1. この授業の存在意義を書く

- 「なぜこれを学ばなければならないのか？」

2. 学生を主語にして書く

「○○について説明する、概説することを目的とする」 (教員が主語)

→ 「○○について知り、理解できるようになることを目的とする」

(こちらは学生が主語)

- ◆ 授業概要では、後述の学習目標と異なり、以下のような複雑な、また、総括的な概念を持つ動詞を用いて表すことが多い。

知る	認識する	理解する	感ずる	判断する
価値を認める	評価する	位置付ける	考察する	使用する
実施する	適用する	示す	創造する	身につける

(佐藤ほか, 2015, p.6)

復習

「学習目標」のポイント

- 学習目標
 - 授業終了後に学生にできるようになってほしいこと
 - 良い学習目標が満たす条件（RUMBA）
 - **R**ead（現実的である）
 - **U**nderstandable（理解可能である）
 - **M**easurable（測定可能である）
 - **B**ehavioral（行動的な）
 - **A**chievable（達成可能である）
- 「逆向き設計論テンプレート」に書いたものをそのまま「シラバスのテンプレート」に貼り付ければok。

（夏目ほか，2010，p.33）

復習

「授業計画」のポイント

- 「教員の指導」と「学生の学習経験」が明記されていること
- 「学生の学習経験」に「説明を聞く」以外の活動が含まれていること
- 評価課題の達成に向けてよく練られた計画になっていること

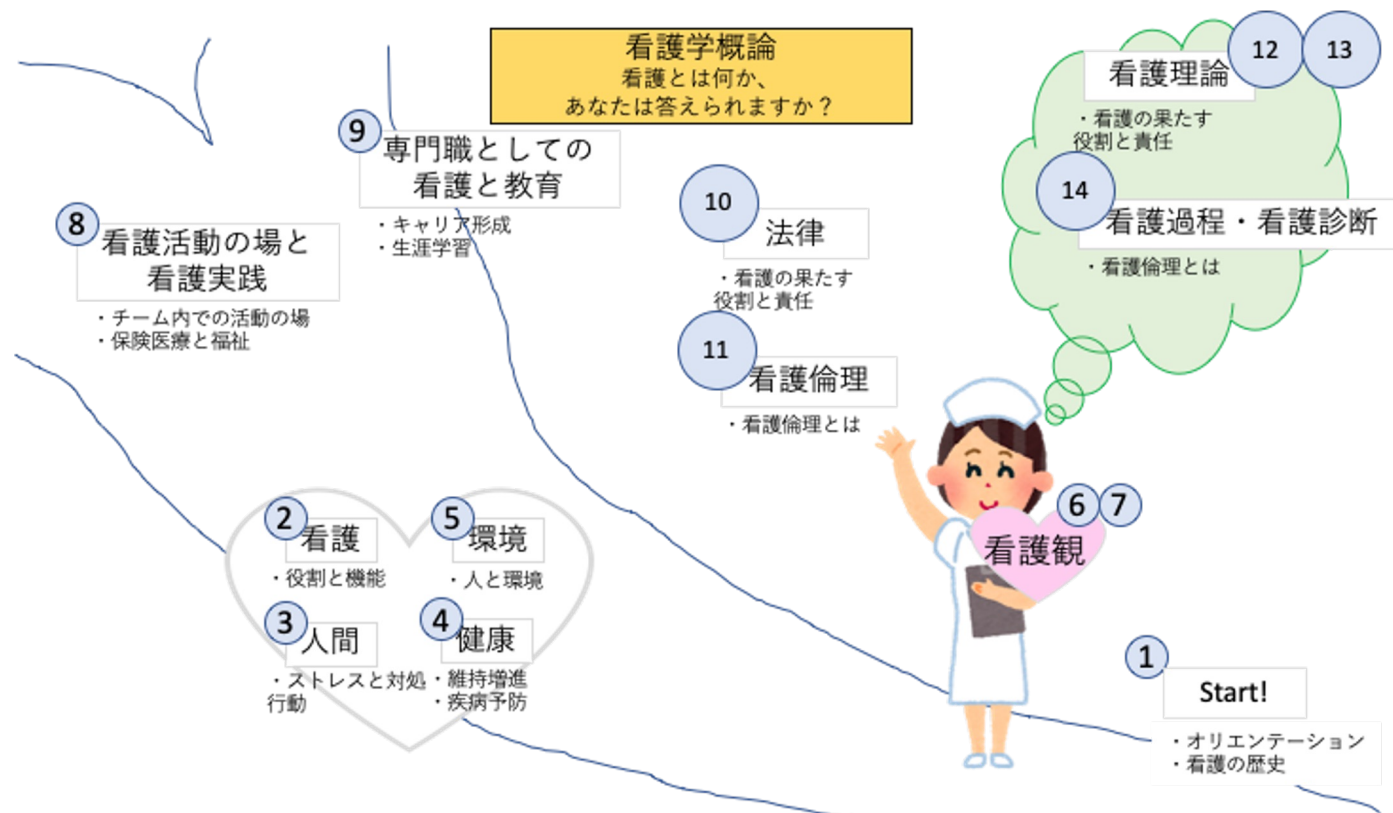
➤ 「逆向き設計論テンプレート」で書いたものを「シラバスのテンプレート」の様式に調整して貼り付ければok。

復習

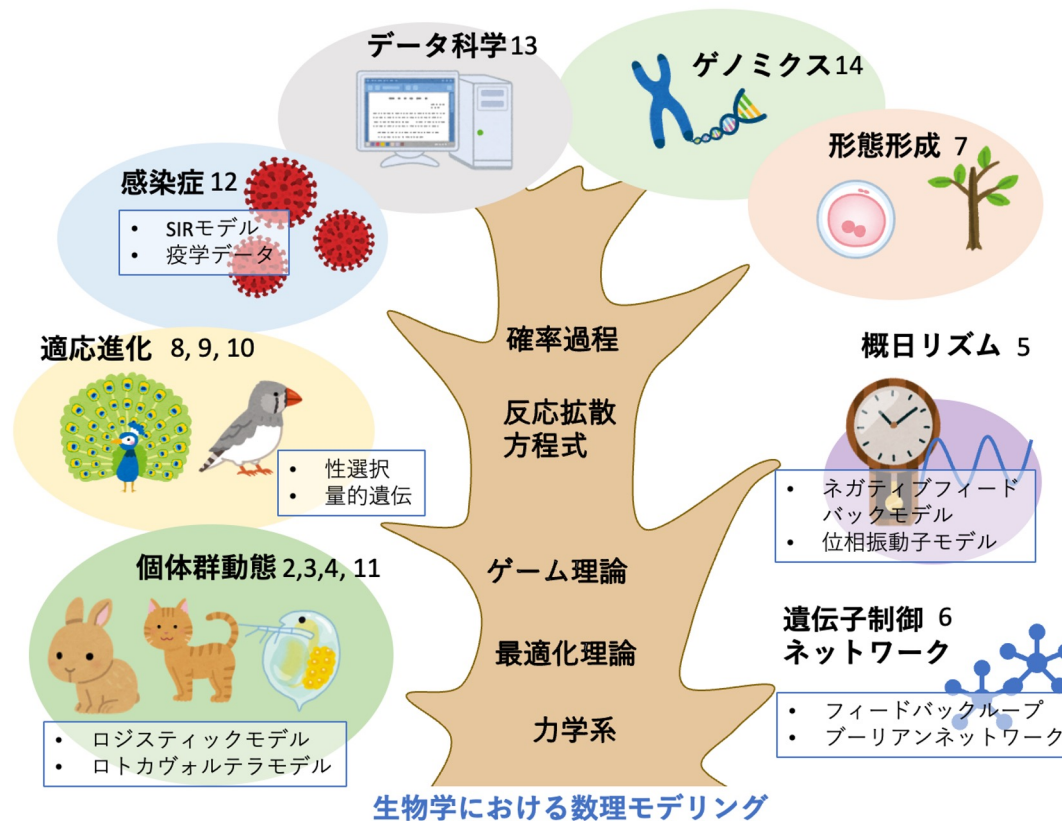
グラフィック・シラバスのススメ

例① 看護学概論

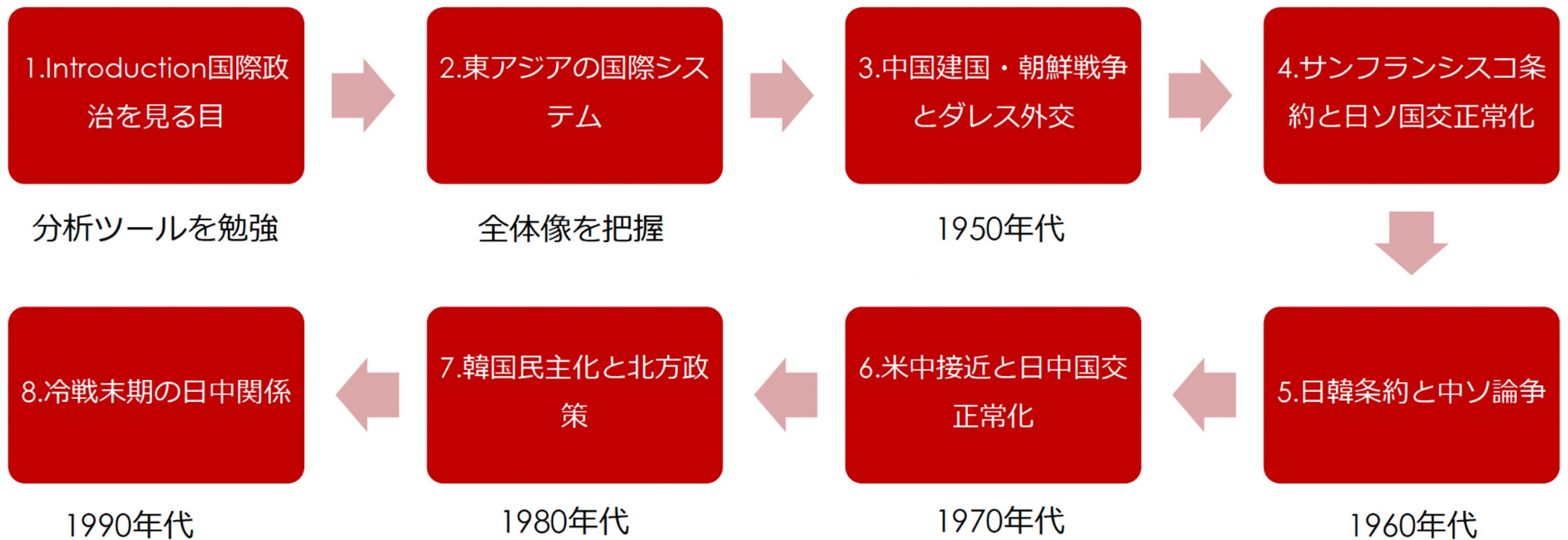
(日下部, 2015)



GP1:生物数学 by 工藤さん



GP2: 東アジア国際関係史 by 張さん



G3: ヨーロッパ学入門 by 富田さん



Q. ヨーロッパって何？

- ヨーロッパの「成り立ち」**
- 2 ヨーロッパの「定義」
 - 3 ヨーロッパの地誌と文化
 - 4 ヨーロッパ史（～WW2）
 - 5 欧州統合史

- ヨーロッパの「仕組み」**
- 6 西欧・北欧・南欧の政治・経済・社会
 - 7 中東欧の政治・経済・社会
 - 8 EUの制度と組織
 - 9 EUの政策
 - 10 EUの対外政策と欧州ガバナンス

- ヨーロッパの「諸課題」**
- 11 EUの構造と危機
 - 12 ポピュリズム、Brexit
 - 13 環境問題
 - 14 グローバルアクターとしてのEUと諸大国

復習

「授業外学習」のポイント

1. 学習目標に沿っている
2. 授業時間内の学習とつながりをもっている
3. 達成可能なレベルと量である
4. フィードバックの機会がある

学習活動	授業外学習活動の例
読解	「教科書の予習・復習をする」「課題文献を読む」
視聴	「オンライン教材の講義を視聴する」「英語のリスニング課題を聞く」
ライティング	「課題レポートを書く」「実験レポート・実習記録を書く」「発表用のスライドを作成する」
問題演習	「教科書の演習問題を解く」「小テストを解く」
ディスカッション	「図書館でグループディスカッションをする」「オンラインでディスカッションをする」
フィールドワーク/観察	「実験作業を観察する」「フィールドワークをする」

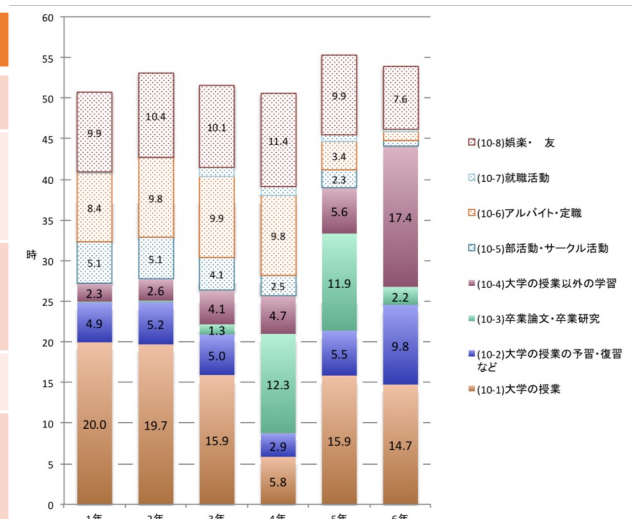


図1 学年別 1週間当たりの学習時間・生活時間 (平均: 時間)

(中島編, 2018, pp.85-86)

復習

「成績評価」のポイント

1. 学習目標に合わせて選択。
 - 「知識の定着」を確認するには筆記試験
 - 「思考力や判断力」を測るにはレポート課題、など。
2. それぞれの方法が全体の成績評価をどのように決めるのかを説明する(割合で示す、など)。

8. シラバス（実践編）

内容	時間	授業形態	備考
前回の復習	10分	説明	
シラバスへのコメント	30-40分	演習	ノルマ：3名分
寄せられたコメントへの の返信を書く	15分	演習	
総括	10分	説明	
DAY5の説明	5分	説明	



他の人のシラバスにコメントしてください。

- ノルマ：3名分（さっき同じグループだった2名＋1名）に各最低1コメント
- 授業をこれから受講しようとしている学生が目線＋同僚教員が目線
- コメントの例
 - 感想：～の書き方がすごく参考になりました。ありがとうございます！[長沼]
 - 提案：概要については、もっと学生を主語にして書いた方がよいのでは？[長沼]
 - 質問：ここでの授業外課題は何を想定していますか？[長沼]
- 注意点：[長沼]のように、自分の名前を入れて書いてください

総括：全体的によかったところ

- 授業概要がよく書けている
- 教員の指導に関して、何名か、フィードバックに関して言及できていた
 - 試験を行った後にそのフィードバックをどうするかは考えておいたほうがいい
- 何名か、良いグラフィックシラバスが書けていた

総括：全体的に**改善**が必要なところ

- **授業概要**で、具体例を入れると学生にとって良いと思われる
 - より高年次の授業での基礎になる場合は、それは書いてあげる
- **主な学習経験**をさらに**明確化**したい
 - 小テストやコメントシート、小レポートの提出を授業の最後に行うのみならず、間に挟んだり、クイズを取り入れたり、ペアやグループで理解度を確認したり、動画を視聴する、フィールドワークする、といった、**授業に集中できる工夫**がもう少し欲しい
- **授業外学習**の情報を**もっと有益に使えるように工夫**したい
 - 授業内の時間との関連性を検討する
 - 具体的な成果物を求める

最終課題の提出に向けて

- 今日もらったフィードバックを元にして、別の授業を想定して、シラバスのテンプレートを再度作成しましょう
- ChatGPT等を利用して良いです。

補足：ChatGPT等生成系AIの利用について

長沼 初学者のための授業として、「日本語入門」の15回分のシラバスを作って。表形式で出力して。

もちろんです、表形式で初学者向けの「日本語入門」のシラバスを作成します。各レッスンは1時間と想定します。

週次	テーマ	学習目標	内容
1	自己紹介と基本的な挨拶	自己紹介と基本的な挨拶を理解し、使えるようになる	「こんにちは」「ありがとう」「さようなら」などの基本的な挨拶、自己紹介のフレーズ
2	数字と時間	数字と時間の表現を理解し、使えるようになる	1から100までの数字、時間の表現
3	形容詞と感情表現	形容詞と感情表現を理解し、使えるようになる	基本的な形容詞、感情表現
4	家族と友人	家族と友人について話す能力を身につける	家族や友人に関する語彙
5	趣味と興味	趣味と興味について話す能力を身につける	趣味や興味に関する語彙、形容詞の使用

ChatGPT
(汎用的)

instructional skills

Instructional skills are the abilities, techniques, and strategies needed to effectively lead a lesson. This lesson will cover a variety of topics, such as how to establish and maintain a classroom environment that is co...

Lesson Title

instructional skills

Be descriptive and touch on the core of the lesson

Description & Details

Instructional skills are the abilities, techniques, and strategies needed to effectively lead a lesson. This lesson will cover a variety of topics, such as how to establish and maintain a classroom environment that is conducive to learning, how to create lesson plans, and how to implement appropriate instructional methods. It will also explore how to assess student

Include any specific important or relevant details about the lesson. Leave empty and we'll generate this for you

Learning Objectives & Outcomes

- Define instructional skills **Remember**
- Describe how to create objectives for instructional plans **Understand**
- Evaluate instructional delivery methods **Apply**
- Explain the importance of instructional evaluation **Analyze**
- Design a lesson plan **Create**
- Evaluate the effectiveness of instructional material **Evaluate**
- Observe learners to assess their progress

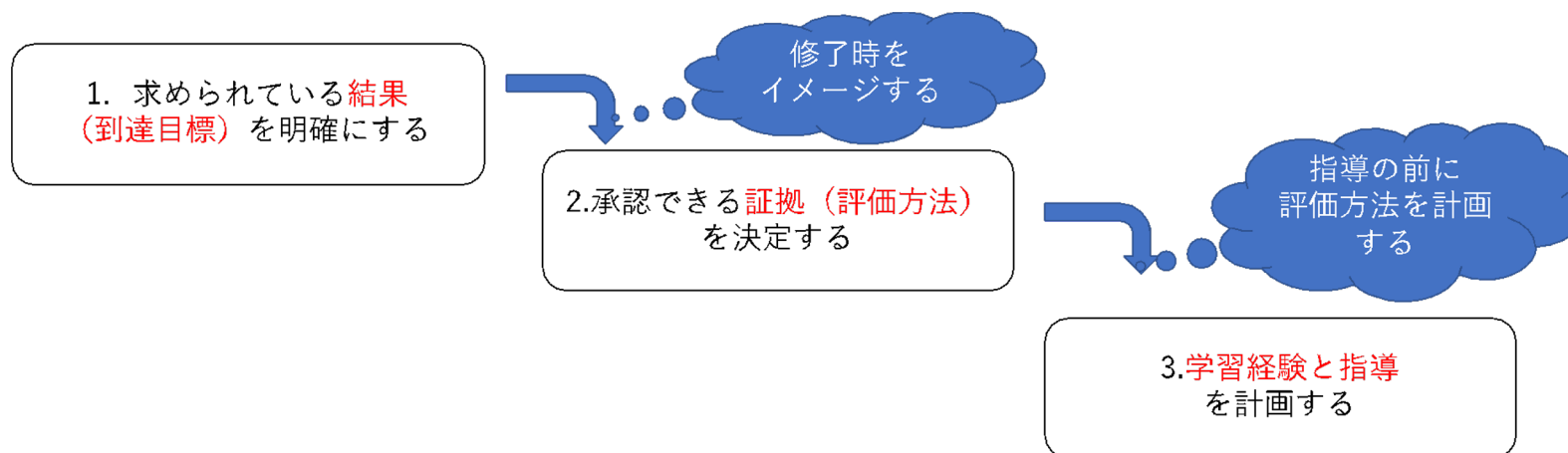
teachology.ai
(教育特化)

シラバスの評価（25%）

観点	レベル3 模範的	レベル2 発展段階	レベル1 標準的	レベル0 要改善
授業概要	この授業の存在意義がわかりやすく、また、学生が主語として書かれている。	この授業の存在意義や学生を主語として書くことに気配りが見られるものの、わかりにくい。	主に教員目線で授業概要を書くにとどまっている。	レベル1を満たさないもの
学習目標	到達目標が示されており、それらは全て具体的で観察・測定可能である。	到達目標が示されており、それらの多くは具体的で観察・測定可能であるが、一部改善の余地がある。	到達目標が示されているが、その具体性、観察・測定可能性について、大きく改善の余地がある。	
成績評価	該当なし	課題・試験・授業中の活動などが成績にどのように反映されるかを明示している。	課題・試験・授業中の活動などが成績にどのように反映されるかを示されているが、その割合が不明であるなど、改善の余地がある。	
授業計画	授業内外での学習活動が、学生が到達目標を達成できるように、意図的に計画・配置されており、指導・学習経験が適切に記載されている。	授業内外での学習活動が、学生が到達目標を達成できるように、意図的に計画・配置されているが、指導・学習経験が適切に記載されていない。	授業内外での学習活動がおおまかに示されているが、到達目標の達成のためにそれが必要なのかが明白でない。	
読みやすさ	文章と図表が有機的に連関しており、重要な内容に学生の注意を引きつけられる。	図表を用いたわかりやすい表記を用いている。	文章のみで書かれているが、見出し・箇条書きなどにより、構造が明確にわかる。	

まとめ

- いかがだったでしょうか？



- 逆向き設計で授業に臨むことで、「初回の授業が始まる前に」様々な課題を発見・修正し、しっかりと準備をしてから第一回の授業を迎えることができます。
- 次回からは、具体的に90分の授業をどのように進めていくかを学びましょう！